

芦屋市指定文化財 芦屋川の文化的景観 芦屋川の歴史 7

芦屋川が育んだ歴史

芦屋川の名は古代や中世に、すでにみられます。この川が育んできた歴史は長く、そして豊かなものです。その歴史をみれば、先史・原始から変遷を遂げてきたことがわかります。

芦屋川の周辺では、地形の影響を受けて、その右岸(西岸)側と左岸(東岸)側において、ようすが大きく違います。具体的には、水害を受けずに比較的安定している右岸側には集落が営まれてきたのに対して、洪水の被害を多く受けてきた左岸側は集落があまり営まれませんでした。

このように、芦屋川の両岸において環境が大きく異なっていたことが、右岸域と左岸域それぞれの土地利用の歴史に大きな影響を与えてきたのです。

近現代の芦屋川

大正8年(1919)には、精道村公会堂が設けられました。昭和2年(1927)には阪神国道が開通しました。大正末期もしくは昭和初期には、海岸部に防潮堤が建設されました。

芦屋川の第2次大改修工事は、昭和8年(1933)に実施されました。しかし、翌年9月21日の室戸台風による風水害で、高潮による被害を中心に大きな被害を受けました。その後、昭和11年(1936)には、堤防や流失・壊滅した橋の復旧工事が完了しました。

昭和10年(1935)には、業平橋より南に芦屋川に沿ってクロマツが植えられました。なお、業平橋以北の桜は、昭和24年(1949)に植えられました。

昭和13年(1938)7月5日には阪神大水害が発生し、市域は甚大な被害に見舞われました。芦屋川では、開森橋付近の左岸側をはじめとして堤防が10カ所で決壊し、



初代業平橋(大正6年(1917)築)

大量の土砂があふれ出たことにより、芦屋川の流域一帯が泥の海と化しました。

この大水害の後、昭和14(1939)～昭和17(1942)に、国(内務省、昭和20年(1945)より建設省)による河川改修工事が実施され、花こう岩の切石を谷積みした石垣護岸や、谷積みや布積みの堰堤が設けられました。

コラム

芦屋川に架かる橋

芦屋川には、上流から、開森人道橋、開森橋、桜橋、月若橋、大正橋、業平橋、公光橋、平田橋、芦屋川橋、鶴塚橋が架かっています。また、今はない橋として、瓦器橋、城山橋、御園橋、永保橋があります。

これらの歴史をみると、瓦器橋、開森橋、永保橋は、明治17年(1884)に刊行された地誌『芦屋村誌』にすでに記されています。城山橋は、開森橋より上流にあった木橋で、大正7年(1918)以前から架かっていましたが、昭和13年(1938)の阪神大水害で流されました。開森人道橋は、平成11年(1999)に設けられています。開森橋は、昭和28年(1953)に架けられ、昭和38年(1963)に拡張されています(現在架け替え工事中)。桜橋は、大正末から昭和初期に建設されました。阪神大水害で壊れ、すぐ北側に2代目の桜橋が架けられました。昭和22年(1947)には、3代目のものとなり現在に至ります。月若橋は、阪急電車の開通(大正9年[1920])以前からあり、「ベコベコ橋」、「どんどん橋」とも呼ばれていました。現在のものは、昭和43年(1968)に架け替えられたものです。

大正橋は、大正13年(1924)に架けられました。業平橋は芦屋川の第1次大改修工事に伴い、大正6年(1917)に木造のものが架けられました。2代目の業平橋は、阪神国道の建設に伴って大正14年(1925)に架けられました。公光橋はいつ建設されたのか分かっていませんが、大正4年(1915)の刊行物の写真にみることができます。昭和21年(1946)に架け替えられましたが、昭和42年(1967)の集中豪雨で倒壊し、昭和43年(1968)に現在のものが建設されました。平田橋は、大正5年(1916)に仮設の木造橋としてつくられました。現在のものは、昭和39年(1964)に架けられています。永保橋は、第二阪神国道(国道43号)の開通に伴って昭和36年(1961)に芦屋川橋に架け替えられました。鶴塚橋は、大正の初めごろに架けられたと考えられます。現在のものは、昭和63年(1988)に架けられています。



2代目業平橋(大正14年[1925]竣工)



阪神大水害(昭和13年[1938]7月5日)

現在の芦屋川の石垣護岸の大部分は、この改修工事によって築かれたものです。それは、堰堤の銘板に示された工事期間が、昭和14年(1939)から昭和17年(1942)までに限られていることから

も知ることが出来ます。具体的には、上流側から角石堰堤が昭和16年度施工兵庫県、河原毛堰堤が昭和15年(1940)10月竣工、昭和16年(1941)6月竣工、杖東堰堤が昭和16年度施工(兵庫県)、芦屋川第一号堰堤が昭和14年(1939)11月竣工、昭和15年(1940)4月竣工、芦屋川堰堤が昭和17年(1942)1月竣工、昭和17年(1942)10月竣工となっています。

戦後になって、昭和31年(1956)には、芦屋公園テニスコートが開設されました。また、芦屋川左岸では、昭和35年(1960)に市役所新庁舎(現在の市役所北館)、昭和38年(1963)に市民会館、昭和56年(1981)に旧芦屋市保健センター(現在の芦屋市役所公光分庁舎)、平成2年(1990)に市

役所南館が建設され、公共施設群を形成しています。河口では昭和36年(1961)ごろから市独自の芦屋浜埋立構想が練られましたが、その後、阪神港湾整備の一環として広域的な立場から兵庫県企業庁が主体となり、昭和44年(1969)11月より造成工事が着工されました。これにより、昭和50年(1975)には海浜部に広大な埋立地が完成し、住宅地の拡大につながりました。しかし、その一方で芦屋海浜浴場としても市民に親しまれた美しい砂浜は、完

- 【主な参考文献】
- 『芦屋 今むかし』(市制施行50周年記念写真集) 芦屋市1990年
 - 『芦屋子ども風土記』第1～9集 芦屋市文化振興財団1992～2000年
 - 『芦屋のうっぴりかわり』(市制施行50周年記念写真集) 芦屋市1990年
 - 『芦屋の自然』自然観察ガイドブック 環境課2008年
 - 『芦屋の生活文化史-民俗と史跡をたずねて-』 芦屋市教育委員会1979年
 - 『新修芦屋市史』本篇 芦屋市1971年
 - 『新修芦屋市史』続編 芦屋市2011年
 - 『みんなで語り、伝えよう! 芦屋川物語』 六甲の川物語 国土交通省近畿地方整備局
 - 六甲砂防事務所ホームページ

※このページでは、生涯学習課が発行した「芦屋川の歴史」を広報国交流課が再編集して紹介しています。

KOBELCO 神戸製鋼グループ 神戸製鋼グループ

神戸製鋼グループが運営する介護付有料老人ホーム 広告

便利でありながら閑静な住宅街、神戸市東灘区に立地。

ELEGAN KONAN 介護付有料老人ホーム (一般型特定施設入居者生活介護)

見学会開催 2015年4/22(水) 11:00~14:00 (参加費:1,000円/人 昼食付) 詳細は下記フリーコールまで

0120-65-8208

見学会当日の契約は受け付けておりません。

神戸市東灘区本山南町3丁目3番1号 TEL:078-411-9600 FAX:078-411-9674 ホームページ <http://www.s-carelife.co.jp>

社会福祉法人運営の介護付有料老人ホーム 広告

芦屋 山の手でシニアライフを **空室あり**

見学会 随時受付中 お気軽にお電話ください。 **TEL0797-23-1200**

社会福祉法人 緑水会 介護付有料老人ホーム **芦屋アラベラの家**

〒659-0012 芦屋市朝日ヶ丘町9番1号 ホームページ [芦屋アラベラ](#) 検索 2014年4月開設

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしや ON LINE』でご覧いただけます。